

NEWS

平成30年度産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー [現業管理コース・営業コース] 報告

----- 営業コース

10月30日(火)・31日(水) / 吹上ホール会議室

コース目的は、産業廃棄物処理に係わる自社の廃棄物処理の流れを法的な裏付けとともに説明ができ、顧客の事業内容や業務構造を理解した上で、的確な提案を行う能力を養成します。(9社15名受講)

セミナーは自己・自社紹介、講義(営業社員の基本的役割)、グループ研究(顧客情報管理シートの作成他)が行われたのち、(公社)全国産業資源循環連合会担当部長 古川洋一氏から「改正廃棄物処理法等の概要について」と題して講義がありました。中でも廃棄物の不適正処理への対応の強化について解説がありました。



講演する(公社)全産連
古川担当部長



講演する青年部
近藤会長



講演する青年部
永井副会長

「産業廃棄物処理事業の経営戦略と社員への期待 これからの産廃処理事業者として必要なこと」では、青年部会長中部保全(株)取締役 近藤大樹氏、副会長永一産商(株)取締役 永井弘児氏から説明がありました。永井副会長は、今後産業廃棄物処理業が挑むべき事業戦略として、①生産性向上による競争力の強化(自社の強みと弱みを知る)、②他業種に負けない労働環境の整備(経営の基盤は人材)であると述べました。

近藤会長は、青年部における活動事業を通じた人材育成への取組、また産業廃棄物処理事業者として求められる人物像について話しました。

2日目は各ケーススタディとまとめを行い、セミナー終了後受講者全員に修了証が交付されました。

----- 現業管理コース

11月13日(火)・14日(水) / 吹上ホール会議室

コース目的は、処理(リサイクルを含む)、設備整備、安全管理等に関する基本的な知識を網羅し、その上で柔軟かつ迅速な操業管理・進捗調整を実施・検証できる能力を養成します。(7社10名受講)

講義は、操業管理・設備保全基礎・原価管理基礎、安全衛生管理概論について、現業管理として必要な内容について解説がありました。



講演する(公社)全産連
森谷専務理事

業界をとりまく最新動向として「改正廃棄物処理法等の概要について」と題して(公社)全国産業資源循環連合会専務理事 森谷賢氏による講義がありました。廃棄物処理法の改正では、適正処理の推進として、①許可を取り消された者等に対する措置の強化 ②マニフェスト制度の強化(マニフェストの虚偽記載に関する罰則の強化、特別管理産業廃棄物を多量に排出する事業者に、紙マニフェストの交付に代えて電子マニフェストの使用を義務付ける。)他について、解説がありました。

その後、「産業廃棄物処理事業の経営戦略と社員への期待 これからの産廃処理事業者として必要なこと」と題して、青年部近藤会長、永井副会長から解説がありました。

2日目は、負荷の調整、操業管理に関わる、労務、安全に関する指示・指導のポイント等のケーススタディが行われ質疑応答後、受講者全員に修了証が交付されました。

